

# 福津市でも起こりえる 突然の大地震

平成7年1月17日、マグニチュード7.3の揺れが兵庫県南部を襲いました。今日まで多くの人の記憶に残る阪神・淡路大震災です。活断層のずれが引き起こした大災害は多くの人の生活、そして6千人もの命を奪いました。私たちの生活も大地震の危険と隣り合わせです。「西山断層帯」。これが私たちの暮らしの下を通る活断層です。

## 西山断層帯が 引き起こす地震とは

福津市と宗像市の市境付近を走る西山断層帯。宗像沖ノ島付近から朝倉市にかけて、南東方向に分布する活断層帯です。いつ活動するかは不明ですが、最大でマグニチュード7.6もの直下型地震を引き起こすと考えられています。さらに、震源が浅くなることも予測され、阪神・淡路大震

災のように、家屋の倒壊などを引き起こす激しい揺れの発生が懸念されています。

仮に震度6強の地震が発生した場合、人は立つことすらできない程の揺れが起こります。耐震の対策がなされていない家屋は倒壊し、固定されていない家具は凶器となつて倒れてきます。

また、電気やガスなどのライフラインは止まり、水や食料の供給も十分に得られなくなり、生き延びたとしても、いつ起こるか分からない余震におびえながら、不便な生活が待ち受けています。

▲阪神・淡路大震災 震度7の揺れが襲った兵庫県灘区

## いち早く情報を得るために

### 防災メール・まもるくん

災害情報などを得るための一つの手段として「防災メールまもるくん」があります。

これは福岡県などからの情報を、携帯電話やスマートフォンにメールでお知らせするものです。災害情報以外にも多くの情報を得ることができますので、ぜひ利用者登録をしてください。



## <登録すると得られる情報>

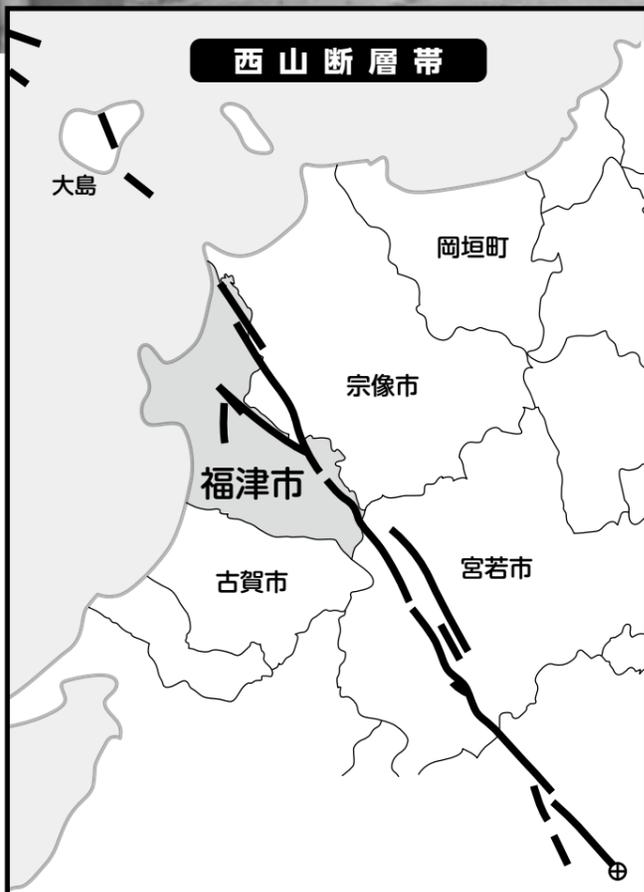
- 地震・気象情報  
地震、台風、大雨に関する情報など
- 自治体の発表情報  
登録時に選択した自治体の防災情報(避難勧告など)、地域の安全情報、徘徊・行方不明者情報、福岡県からの重大な情報など
- 生活情報  
災害時のJR九州の運行状況、生活に役立つ花粉や紫外線情報など

## 【登録方法】

携帯電話・スマートフォンから mamoru@bousaimobile.pref.fukuoka.lg.jp に空メールを送信。その返信メールの内容に従って登録してください。

## 【登録に関する問い合わせ】

福岡県防災企画課  
☎ 092-643-3114  
福津市生活安全課  
☎ 43-8107



参考：地震調査研究推進本部 西山断層帯資料

# 自らの命は 自ら守る

「自分の命は自分で守る」。これが防災の基本である「自助」です。突然の大きな揺れに、あなたは何かができますか。そして、揺れがおさまった後、助けが来るまで生き延びることができませんか。命を守るためには、とっさの判断と的確の備えが不可欠です。いざという時のために、あなた自身が生き残るための手段を身に付けてください。

## 自助への意識が 運命を握る

大地震から自分の命を守るた

めには、普段から家の内外を点検、確認し、危険箇所を無くしておくことが重要です。阪神・淡路大震災で亡くなったかたの88

対策をしないと、激しい揺れで部屋の中はぐちゃぐちゃに。家具の下敷きになり大けがをする可能性もあります。



## 家の中の危険を減らそう

地震の時、家具の転倒やガラスの飛散などは、多くの人を傷つけます。事前の対策で危険箇所を無くしましょう。

### 家具は倒れないように置く

家具は壁に直接固定したり転倒防止器具を使ったりして倒れないようにしましょう。



### ガラスの飛散防止

窓ガラスなどには専用のフィルムをはると、ガラスが割れても飛び散りません。



具体的対策としては、地震での負傷原因の多くを占める、家具を固定することや、ガラスの飛散防止を行うことです。対策のための防災用品は、ホームセンターなどで購入できます。さらに、倒壊の危険性がある家屋の耐震補強も重要です。市では、木造住宅耐震改修工事補助の制度があります。少しでも危険を感じたら、積極的に対策を

行ってください。また、発生からの数日間を生き延びるために、水や食料、生活用品などの非常持出品や備蓄品の準備が必要です。これらは使用期限がある物もありますので、日ごろから確認しておきましょう。そして、避難経路の確認や、災害の情報を得ておくことも基本的な備えです。各戸配布した防災マップを事前に読み、確認してください。面倒に思わず、徹底した備えをお願いします。

また、発生からの数日間を生き延びるために、水や食料、生活用品などの非常持出品や備蓄品の準備が必要です。これらは使用期限がある物もありますので、日ごろから確認しておきましょう。そして、避難経路の確認や、災害の情報を得ておくことも基本的な備えです。各戸配布した防災マップを事前に読み、確認してください。面倒に思わず、徹底した備えをお願いします。

家庭でもできる

## シェイクアウト訓練

### 安全行動 1-2-3



地震によるけがの大半が、家屋の倒壊や、ガラスの破片、落下物が原因です。シェイクアウト訓練は、地震が発生してから直ちにしなければならない安全確保行動です。

地震発生時、激しい揺れにおそわれるまで、また、何かが落下してくるまで、自分の身を守るためには数秒の猶予しかないかもしれません。安全行動1-2-3「まず低く、頭を守り、動かない」を実践し、いざというときに素早く反応するために、日ごろから訓練をしてみましょう。

### シェイクアウトのポイント

落ち着いて、近くの丈夫な机やテーブルなどの下に身を隠します。その際にテーブルの脚をしっかり持ちましょう。揺れでテーブルが崩れることがあります。身を隠す場所が無い場合は、座布団やクッションなどで頭を保護します。

イラスト提供 効果的な防災訓練と防災啓発提唱会議

備えあれば憂いなし

## 非常持出品

災害はいつ起こるか分かりません。昼間ならまだしも、深夜寝ている時に突然ということもあります。いざという時のために日ごろから備えをしておきましょう。危険が迫ってきた緊急時に避難する際に持ち出すのが『非常持出品』。大災害時に救援物資など外部からの支援が届くまでの数日間を自力で生き延びるために準備しておくものが『備蓄品』です。非常持出品を紹介します。

### 非常持出品の例

- 飲料水………ペットボトル
- 非常食………缶詰
- 栄養補助食品など
- 応急医薬品…常備薬セット
- 貴重品………通帳                   権利証書
- 保険証コピーなど
- 生活用品……タオル
- 着替え                   簡易毛布



- マスク                   軍手
- 雨具
- 携帯用トイレ   生理用品
- ウエットティッシュ
- トイレトペーパー
- 缶切り                   洗顔セット
- ライター               ポリ袋
- 食器セット
- ヘルメットなど

- その他…携帯電話の充電器
- 電池                   懐中電灯
  - 携帯ラジオなど

#### 赤ちゃんがいる場合

- 粉ミルク               哺乳瓶
- レトルト離乳食
- 紙おむつ               お尻ふき
- 母子手帳など

# 手を取り合って 助け合う地域に

もし、あなたが倒れた家具の下敷きになったら、すぐに駆け付け救助してくれる人は隣近所の人たちです。また、近所で困っている人にいちばんに駆け寄れるのもあなたです。災害が起きたときは、「困ったときはお互いさま」という意識で、地域の支え合いが重要です。共助が持つ力、そして防災訓練の重要性を、宗像地区消防本部福岡分署の米原正秋分署長に伺いました。

## 共助で地域防災力の強化を

「共助」とは、隣近所との助け合いであり、自分たちの住む地域は自分たちで守るという考えです。「いざというときは、消防署や自衛隊からの救助といった『公助』の力があればいいじゃないか、共助は必要ないだろう」という人もいます。しかし、公的機関は大規模災害時、消火活動や倒

壊家屋の対応などにも同時に  
出動しなければなりません。

「公助」における人員は限られて  
いますので、すべての救助現場等に  
出動できるものではありません。  
平成7年に発生した阪神・淡路大震災でも、  
救出された人の9割以上が、  
隣近所の人に助けられたと答  
えています。共助は防災上と  
ても重要なのです。

平成23年3月に発生した東  
日本大震災以降、福岡県でも

共助の重要性が再認識され、  
自主防災組織の結成が進ま  
した。福岡市でも同様に、こ  
の3年、各地域で自主防災組  
織が立ち上がっています。自  
主防災組織をつくった地域で  
は、いざというときに備えて、  
ぜひ訓練を実施してください。  
11月7日には、福岡市をあ  
げた一斉防災訓練があります。  
防災訓練は災害の知識を得た  
り、避難場所や避難経路を確  
認したりする重要な機会です



▲宗像地区消防本部 福岡分署 米原正秋 分署長

し、隣近所、地域での交流を  
深めるきっかけにもなります。  
ぜひ積極的に参加をしていた  
だけだと思います。  
自主防災組織にはこれを機  
に初期消火活動、避難訓練、  
自力で避難が難しい高齢者や  
障がい者といった避難行動要  
支援者の把握、あるいは図上  
訓練など、いろいろあります  
が、できることから取り組ん  
でいただけたらと思います。  
また、自主防災組織が結成  
されていない地域や、結成し  
ていても訓練が無い地域のか  
た、職場では、(5ページで紹  
介した)シェイクアウト訓練  
を行ってみるのも良いと思  
います。「災害を迎え討つぞ」と  
いう、日ごろの積極的な備え  
が、あなたの命を救います。

## 先進地域に聞く

毎年しっかりと防災訓練を行っ  
ている三つの地域に、今年の訓  
練の予定を聞きました。

花見緑区



自主防災会事務局長  
津田栄一さん

二つの課題に取り組みます。  
一つは、ひとり暮らしの高齢  
者や病気の人も、避難行動  
要支援者を把握すること。も  
う一つは、その人々を地域  
が助け、避難させる仕組みを  
作ることに。中学生も交えな  
がら頑張ります。

宮地地域郷づくり推進協議会



安全安心部会会長  
阿部康英さん

今年で5回目を迎える防災  
訓練では、地域の小学校の児  
童に積極的な参加を呼び掛け  
ています。また、皆さんに参  
加していただき、新たな防災  
知識を得てもらうことを目的  
に、さまざまなイベントを企  
画しています。

神興地域郷づくり推進協議会



副会長  
高橋 功さん

東福岡3区から始まった避  
難訓練が、神興地域に広まり  
つつあります。今年は避難訓  
練に加え、私たちの地域にあ  
る医療施設などに、地域がど  
のように協力できるかを課題  
に、取り組むことができました  
と思っています。

# 11月7日(土) 8時45分 福津市一斉防災訓練を 行います

地域、家庭、職場など、それぞれの場  
所で、安全行動や避難訓練などを実施し  
てください。防災行政無線及び携帯電話、  
スマートフォンへの福津市エリアメール  
配信による合図で一斉に開始します。

